



令和3年1月29日
 睦沢町上之郷1736
 睦沢町立睦沢こども園
 TEL0475-44-0050



「先生風揚がったよ！」と喜んでいた4歳の子どもたち。風のない日には揚がらないということを経験して分かっていたようです。保育者が風の吹いているほうに走ると風が揚ると話していたことを覚えていたようで、一生懸命風に向かって走っていました。風が強い日には、木にひっかかってしまい、引っ張っても取れず、枝を揺らしても取れず、困って保育者に伝える姿も見られました。正月遊びから、風の強弱と風の関係を学ぶきっかけとなりました。試行錯誤しながら遊びに取り組んでいるのだと感じました。そして、何度も経験しているうちに、風の扱い方も上手になり、自分で風を出し入れし、風の揚げ方が上達しました。風を持ち帰りましたら、ぜひお家でも遊んでみてください。

今年には124年ぶりに2月2日が節分で、立春は2月3日です。豆まきは、病気や災いの象徴である鬼を退治する、中国の「鬼やらい」という行事が元になったといわれています。穀物の力で鬼を追い出そうと考え、豆をまくようになったそうです。「鬼は外、福は内」の掛け声で、病気や災いを退治しましょう。

新型コロナウイルス感染症流行が長生郡市内でも拡大しつつあります。感染防止対策に取り組ましましょう。子どもたちも保護者の方も、手洗い・うがい・消毒をし、健康で笑顔で過ごせるように御協力をお願いします。

2月のねらい

- 0歳児・保育者に手伝ってもらいながら簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。
 - ・保育者を仲立ちとして、友達とのやりとりを楽しむ。
- 1歳児・身の回りのことを自分でしようとし、できた喜びを感じる。
 - ・保育者や友達と簡単な言葉のやりとりをしながら、見立て遊びを楽しむ。
- 2歳児・身の回りのことを自分でできた喜びを感じ、自信をもつ。
 - ・ごっこあそびや表現あそびを保育者や友達と一緒に楽しむ。
- 3歳児・生活の見通しをもち、身の回りのことを自分で行う。
 - ・寒さに負けず、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・冬の自然事象に触れ、面白さや不思議さに気付いたり、季節の変化を感じたりする。
- 4歳児・健康に過ごし、見通しをもっていろいろな活動に取り組む。
 - ・友達と思いを伝え合いながら、遊びを進める楽しさを味わう。
 - ・自然の変化に興味をもち、季節ならではの遊びや行事に親しむ。
- 5歳児・自ら考えて行動したり、様々な出来事に関心を深めたりして、見通しをもって生活する。
 - ・自然事象や伝統行事に親しみ、遊びや活動の中に取り入れる。
 - ・修了や就学への期待をもち、必要な活動に意欲的に取り組む。



2歳児(こあら組)の姿

先月は、コマや凧を作り、正月遊びを経験しました。カルタなどのルールのある遊びにも興味をもち、保育者や友達と一緒に楽しんでいます。また、寒い日でも「外で遊ぼうよ。」と元気の良い子どもたち。戸外でもしっぽとりやかくれんぼ、だるまさんが転んだといった簡単なルールのある遊びに親しみ、保育者や友達と一緒に走ったり、「もういいかい。」「もういいよ。」など言葉を交わしたりして、一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られています。まだまだ寒い日が続きますが、引き続き戸外で元気よく遊び、健康な身体作りをしていきたいと思えます。また、友達の間でも言葉のやり取りが多くなっています。自分の気持ちが相手に伝わる喜びを感じられるように、必要な言葉を補いながら、その場に応じた獲得、やりとりをする楽しさをたくさん経験していきたいと思えます。

3歳児(うさぎ・りす組)の姿

子どもたちの元気なあいさつと笑顔で新年がスタートし、久しぶりの再会を喜び合い、友達と楽しそうに話す姿が多く見られました。

お正月遊びでは、友達と競ってコマを回したり、文字や絵を見てカルタを取り、何枚取れたか絵札を数えたりして、少しずつ文字や数に興味をもてるようになってきました。毎日寒い日が続いていますが、園庭では凧揚げやだるまさんがころんだなどをして、身体をたくさん動かすことでポカポカ身体が温かくなっていくを感じることができました。また、冬ならではの霜柱を見つけたら、氷を作って触れたりして、冬の自然事象に目をキラキラと輝かせていました。

3学期は、生活や遊びの面で頑張っている姿を認め、自信に繋げていき、進級への期待につなげたいと考えています。着替えや所持品の始末など1人で出来るように御家庭でも御協力をお願いします。

0歳児



1歳児



2歳児



冬季休業明けに、獅子舞がクラスにきました。何がきたのか分からず、驚いて泣いている子どもが多かったです。

0歳児は進級に向けて誘導ロープを使い、歩きました。

1歳児はみんなで水の入っているペンで絵を描いたりスタンプを押したりして遊んでいました。

2歳児は、豆まきを使う三方に好きなシールを貼って思い思いの、おかめの顔を自分で描きました。

園庭開放

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発令されています。解除になるまでは中止となりました。

おはなしの広場

日時:2月2日(火)11:00~11:30

対象:未就園児

場所:睦沢こども園子育て支援室

絵本の読み聞かせを親子でいかがでしょうか？

わくわく広場

日時:2月9日(火)10:00~11:00

対象:未就園児とその保護者の方

場所:子育て支援室

内容:1・2月生まれの誕生会

リミックスを楽しもう！講師をお招きして行います。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画に変更や中止の可能性がありま。開催の有無につきましては、睦沢こども園44-0050までお問い合わせください。

★親子で遊べる楽しい体感あそび★

「新聞紙棒でつなわり」

用意するもの:新聞紙の棒

新聞紙の棒の作り方

① 新聞紙を5枚重ねて、棒状に丸める。

② セロハンテープで留める。

遊び方

① 「新聞棒」を5本くらい作って並べます。

② 平均台のように「新聞棒」の上を歩いて遊びましょう。

★高さのある平均台と違って「新聞棒」は踏めばつぶれるので怖くありません。

★「バランス感覚」と「体幹を保つ力」が身に付きます。

★お家で遊んでみてください★

ハッピー子育てアドバイス

自己肯定感が育つ5つの言葉:子どもの状態に合わせて、より適切な言葉をかけるだけで、思いやりと強さがしっかり育まれます。



① 「～をよくがんばったね」「～ができたね」(認める言葉)

一生懸命に取り組んだ、最後までやり遂げたという子どもの行動の過程や努力を大切に、そのよさを認めるようにしましょう。子どもの取り組んだ過程や努力ではなく、結果ばかりに目を向けてしまうと、子どもも「できた」「できない」という結果ばかりに目が行きがちになり、できそうにないことには最初から避けたり、親からの評価を気にして結果をごまかすようになることもあります。

② 「つらかったね」「楽しかったね」「うれしいね」(共感する言葉)

子どもの心は傷つきやすいものです。「つらかったね」「悲しかったね」と子どもの気持ちに寄り添い、共感すると、子どもは自分の気持ちが受容されたことを確信し、安心することができます。勇気や安心感をもらい、様々なことに挑戦してみようと思えるようになります。

③ 「もう少しだね」「一緒にやってみよう」(励ます言葉)

できない部分やつまづいている部分を「一緒にやってみよう」と言って励ましながら親子で取り組んでみると、応援してくれていると分かり、再挑戦することも多いものです。これは、親子の絆を深めることにもつながります。

④ 「大丈夫だよ」(なぐさめる言葉)

思いがけず友達と喧嘩をして嫌な思いをしたりと日々色々なことがあります。見通しをもてずにいるときには「きつと、お話しすれば友達もわかってくれるとおもうよ」「きつと大丈夫」と話してみましよう。気持ちを理解してきれることでほっとし、情緒も安定します。

⑤ 「～してくれてありがとう」(感謝する言葉)

「手伝ってくれてありがとう」というように、子どもの好意に対して心から「ありがとう」と表現することが大切です。「ありがとう」ということばは子どもにも感謝の気持ちや「ありがとう」という姿勢を培い、自己表現を豊かにし、人間関係を円滑にしてい言葉だと言えます。

PHPのびのび子育て 子どもが幸せになるお母さんの言葉

3歳児



4歳児



5歳児



季節の制作をしました。

3歳児は染め紙をして羽子板を作ったり、紙粘土で大きさや形を考え、雪だるまを作ったりしました。手は園庭に落ちている枝を拾って付けました。ラジオ体操にも取り組んでいます。

4歳児は、転がし絵をし、ししまいの体にしました。すぐろくをみんなで進めています。

5歳児は、習字に挑戦し、自分の名前を書きました。運動あそびでは、縄跳びの飛び方を教えてもらったり、トランポリンの上を歩いたり、ジャンプをしたりして、「楽しいね。」と友達と言い合っていました。